スタンプ

商店街・観光地・自治体のイベントに

LINE で参加できる デジタルスタンプラリー

参加者は、ポスターの QR を LINE で読むだけ。アプリのインストールも会員登録もいりません。参加した人には、主催者の LINE 公式アカウントの友だち追加を案内できます。イベントが終わったあとも、抽選の結果や次のイベントのお知らせを、その公式アカウントから届けられます。

- アプリのインストールは不要です
- スタンプは QR か位置情報（GPS）で押せます
- 無料プランから始められます



ご紹介資料 ｜ 株式会社Becalm ｜ 2026年10月

CONTENTS

目次

01 スタンプラリーのあとに、何が残っていますか

02 Lスタンプとは

03 LINE で開く理由

04 ブラウザで開く方式・アプリの方式との違い

05 参加する人は、3つの操作だけ

06 準備・告知・当日・振り返りを、1つの管理画面で

07 こんなイベントで使えます

08 最新のセキュリティ技術で、大切な情報を守ります

09 プランと、申し込みから公開まで

10 お問い合わせ

01

スタンプラリーのあとに、何が残っていますか

応募はがきの集計と抽選

紙の台紙だと、応募はがきを数え、抽選し、当選者に連絡するところまで手作業になります。

アプリを入れるところで離れる

専用アプリをダウンロードしてもらう方式だと、参加の入口で手が止まる人がいます。年配の方には特に負担です。

友だちが増えず、終わると連絡が途切れる

LINE 公式アカウントを作っても、店頭の POP やチラシで友だち追加をお願いするだけでは、きっかけが少なく、なかなか増えません。イベントが終わると、参加した人に次の案内を届ける手段も残らず、次回もチラシから集め直しです。

報告書の数字づくり

どのスポットに何人来たかを、自治体や加盟店への報告のために、あとから数え直すことになります。

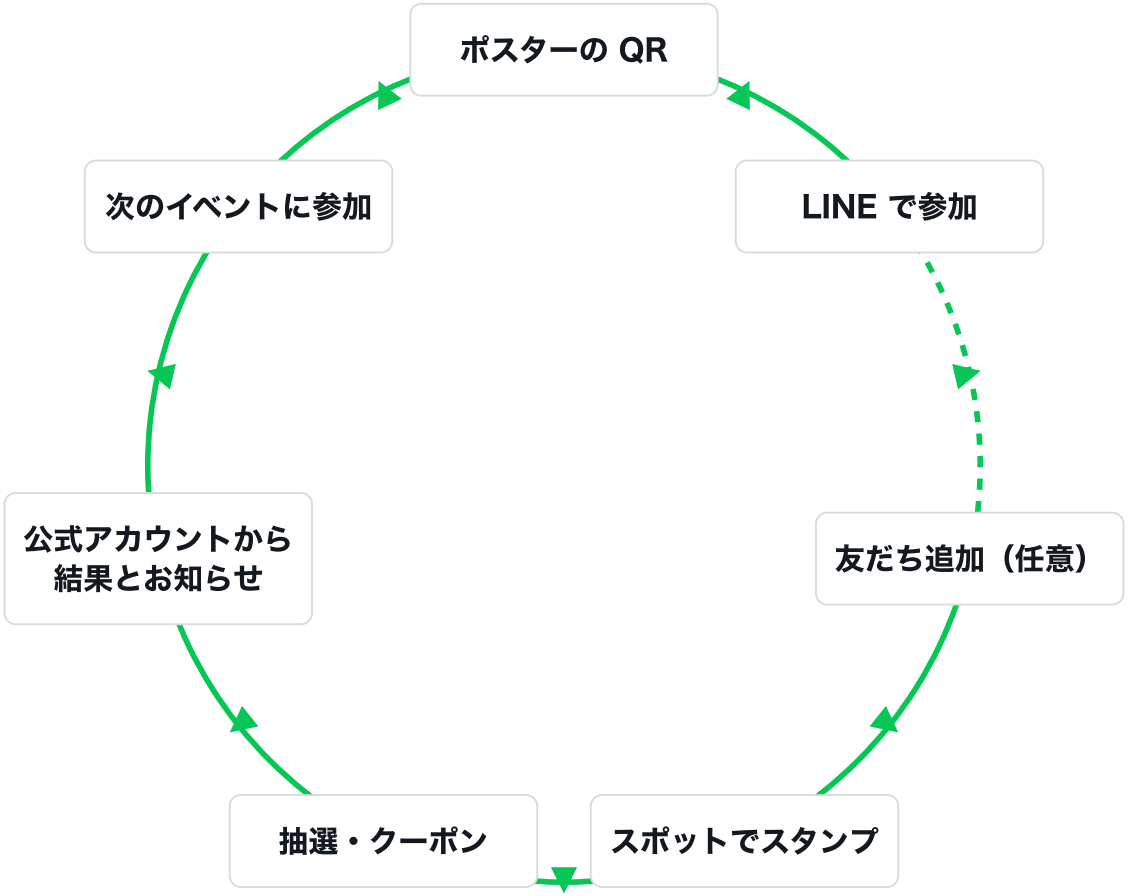
02

Lスタンプとは

株式会社Becalm が提供する、LINE で参加できるデジタルスタンプラリーのサービスです。

参加者は LINE ミニアプリで参加し、主催者は管理画面でイベント・スポット・特典を作って、自分の LINE 公式アカウントからお知らせを送ります。

右の図のように、ポスターの QR から始まった参加が、主催者の公式アカウントを通じて次のイベントにつながります。友だち追加は参加の条件にしないので、追加しなくても参加できます（図の点線）。



03　LINE で開く理由

参加の入口から、次のイベントのお知らせまで LINE の中で

参加者が使い慣れた LINE で始まり、主催者の LINE 公式アカウントにつながります。

1 参加者の手元に、もう入っている

LINE の国内の月間利用者は1億人を超えています（LINEヤフー株式会社の発表。2025年12月末時点）。QR を読むと LINE の中でスタンプラリーが開くので、アプリのダウンロードも ID とパスワードの登録もいりません。

2 来てくれた人が、そのまま友だちになるきっかけに

初めて参加するときに、LINE の同意の画面が出ます。そこに主催者の LINE 公式アカウントを友だちに追加するチェックが並びます。店頭の POP やチラシで別にお願いするのと違い、参加の流れの中で案内できます。友だち追加は参加の条件にしないので、追加しなくても参加できます。追加しなかった人には、参加のあとに1回だけ案内を出します。

3 終わったあとも、お知らせが届く

後日の抽選の結果、景品の発送、クーポンの期限、終了の3日前のお知らせを、主催者の公式アカウントから送れます。次のイベントを公開したときは、前に参加した友だちに案内を届けられます。

4 来た人とスポットが、数字で残る

参加者数・スポットごとの取得・時間帯・よく回られた順路を、管理画面で見られます。このイベントをきっかけに新しく友だちになった人の割合も出ます。

出典: LINEヤフー株式会社「LINE、国内月間利用者数が1億ユーザーを突破」（2026年1月29日発表。2025年12月末時点。1か月に一度でも LINE を起動したアカウントの数）
https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/020058/

参加が、主催者の公式アカウントの友だちにつながる

LINE 公式アカウントを作ったものの、友だちの集め方に悩んでいる主催者の方へ。スタンプラリーに来てくれた人に、参加の流れの中で友だち追加を案内できます。

1　参加の同意の画面で案内する

初めて参加するとき、参加者は主催者の LINE ログインを通ります。このとき LINE が出す同意の画面に、主催者の LINE 公式アカウントを友だちに追加するチェックが並びます。店頭の POP やチラシで別にお願いしなくても、参加する流れのまま追加してもらえます。

2　追加しなかった人に、1回だけ案内する

同意の画面で追加しなかった人には、参加のあとに、「当選やクーポンの期限のお知らせは公式アカウントから届く」ことを添えて、1回だけ追加の案内を出します。断っても、そのまま参加を続けられます。

3　増えた友だちを、管理画面で確かめる

イベントの詳細に、このイベントをきっかけに新しく友だちになった人の数と割合、ブロックした人の割合が出ます。ダッシュボードには、期間中に増えた友だちの合計が出ます。

4　次のイベントで、同じ人に届ける

次のイベントを公開したときに、同じ公式アカウントのイベントに参加したことがあり、いま友だちの人へ案内を送れます。一度来てくれた人に、次回はチラシを待たずに届きます。



1　LINE が出す同意の画面



2　参加のあとの1回の案内

友だち追加は参加の条件にできません。追加しなくても参加できるので、参加の入口は狭くなりません。何人増えるかはイベントによって違います。

04

ブラウザで開く方式・アプリの方式との違い

デジタルスタンプラリーの参加のしかたは、大きく3つあります。どれが合うかはイベントによって違います。

	ブラウザで開く方式	専用アプリの方式	LINE で開く方式（Lスタンプ）
参加の入口	URL や QR を開くだけ	アプリのダウンロードと登録が要る	QR を LINE で読むだけ。 登録はいらない
終わったあとの連絡	メールの登録などを別に用意する	アプリのプッシュ通知 （アプリを残している人だけ）	主催者の LINE 公式アカウントから。 友だち追加は任意
参加者の記録のつながり	端末やブラウザが替わると切れやすい	アプリのアカウントにつながる	LINE のアカウントにつながる
参加に要るもの	ブラウザ	対応する OS とアプリ	LINE のアカウント

表は方式ごとの一般的な違いです。同じ方式でも、サービスによってできることは違います。

05

参加する人は、3つの操作だけ

ポスターに載る3ステップと同じ言葉です。



1 QR を LINE で読み取る

ポスターやチラシの QR を、スマホのカメラで読みます。LINE の中でイベントのページが開きます。



2 スポットでスタンプを集める

スポットの QR を読むか、スポットの近くで「ここでスタンプ」を押します。回る順番は自由です。



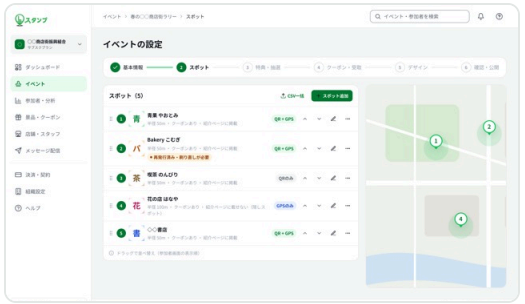
3 特典をもらう

スタンプがたまると、抽選に挑戦したり、お店で使えるクーポンを受け取ったりできます。

パソコンでイベントのページを開いた人には、スマホで読む QR を出して LINE へ案内します。

06

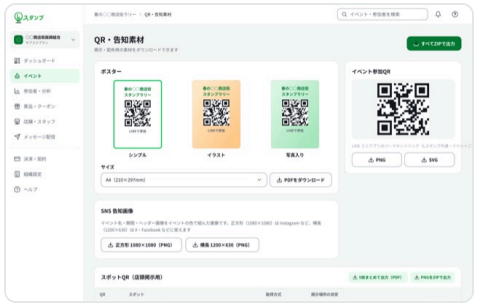
準備・告知・当日・振り返りを、1つの管理画面で



つくる

地図でスポットを置く

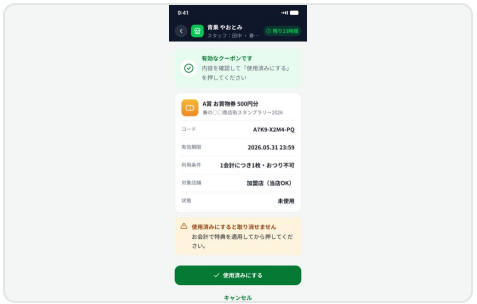
スポットは地図の上で登録し、スタンプの取り方を QR か位置情報（GPS）からスポットごとに選びます。抽選・クーポン・景品はテンプレートから組めます。公開の前に、自分の LINE でテスト参加して確かめられます。



知らせる

ポスターと QR はできあがる

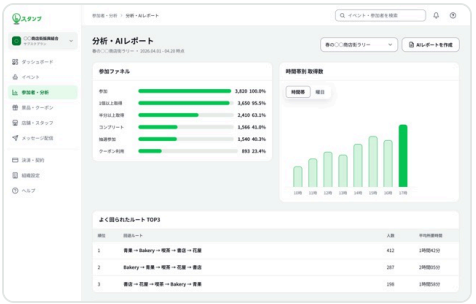
公開すると、イベントの紹介ページができます。ポスター（A4・A3）、スポットに貼る QR（A6）、SNS 用の画像も管理画面から出せます。



当日

お店ではスタッフがその場で確かめる

参加者が見せたクーポンを、店舗スタッフが自分のスマホで読み取り、使用済みにします。同じクーポンは二度使えません。



振り返る

報告に使えるレポートを作る

参加の流れ・回遊・時間帯・特典の効果を集計し、AI が要約と改善の提案を書くレポートを作れます。書いた文ごとに根拠の数字が付き、PDF と PowerPoint で出せます。

画面の数字は説明用の例です。AI レポートなど一部の機能は、有料プランでお使いいただけます（くわしくは料金のページ）。

07

こんなイベントで使えます

自治体・観光協会の周遊

観光地や地域のスポットを回ってもらい、どこにいつ人が来たかを集計します。報告の読み手を「自治体・行政」にして AI レポートを作れます。

商店街・商工会の回遊

加盟店をスポットにして、店を回ってもらいます。店頭でだけ回せるくじや、店で使えるクーポンを付けられます。商店街の LINE 公式アカウントの友だちを集めるきっかけにもなります。

駅・施設をつなぐ周遊

駅や施設に QR を置き、まちの中を移動してもらう企画に使えます。屋内のスポットは QR、屋外は位置情報、と分けられます。

企業・ブランドの販促

店頭やイベント会場を回る企画に使えます。参加の流れの中で自社の LINE 公式アカウントの友だち追加を案内できるので、公式アカウントの友だちづくりの施策にもなります。

08

最新のセキュリティ技術で、大切な情報を守ります

日本国内のサーバーで、暗号化して管理

大切な情報は、日本国内のサーバーで管理しています。通信はすべて暗号化し、保存するデータも暗号化して厳重に保管します。24時間、自動で監視し、不正なアクセスはすぐに遮断します。

個人データは、イベントが終わって1年で匿名化

参加者の個人データは、イベントが終わってから1年で消すか、だれのものか分からない形にします。参加者は、それより前でも自分で削除を申し出られます。AI レポートに渡すのは集計した数字だけで、個人が分かる情報は渡しません。

スタンプやクーポンの不正は、サーバーで確かめる

位置情報のスタンプは、本当にその場所で押したかをサーバーで確かめます。スポットの QR は作り替えを見分け、クーポンは二度使えません。疑わしい取得は記録して、主催者の画面に「要確認」として出します。

ログインは2段階認証、データは毎日バックアップ

主催者の管理画面には、2段階認証でログインできます。見られる範囲と使える操作は、操作のたびに確かめます。データは毎日自動でバックアップし、万一のときに元に戻せるよう備えています。

09

無料プランから始めて、イベントに合わせて選べます

無料

まず試すためのプランです。

単発

イベント1回ごとにお支払いいただくプランです。

サブスク

1年を通してイベントを開く主催者向けの、月額のプランです。

Enterprise

複数の部署や大きな規模で使うときに、個別にお見積りします。

金額とプランごとの違いは、料金のページでご確認ください　**https://l-stamp.jp/pricing/**
主催者の LINE 公式アカウントの利用料（月額やメッセージの通数に応じた料金）は、LINEヤフー株式会社との契約で別にかかります。

申し込みから公開までの4つの手順

1

アカウントを作る

メールアドレスで登録し、組織の情報を入れて、プランを選びます。

2

LINE 公式アカウントをつなぐ

主催者の LINE 公式アカウントと LINE ログインのチャネルを登録し、接続テストを通します。手順は管理画面で1つずつ案内します。

3

イベントを作って試す

スポット・特典・クーポンを登録し、テスト用のリンクから自分の LINE で参加して、スタンプから抽選まで確かめます。

4

公開して QR を貼る

公開すると、イベントのページと参加用の QR ができます。ポスターとスポットの QR を印刷して掲示します。

10　お問い合わせ

まずは無料プランで、イベントを1つ作ってみてください

自分で試す

登録すると、すぐにイベントを作り始められます。テスト参加で、参加者の画面も確かめられます。

→ organizer.l-stamp.jp/signup

料金を確かめる

プランごとの金額と、使える機能の違いを、料金のページでご案内しています。

→ l-stamp.jp/pricing/

相談する

規模や開催の時期に合わせて、使い方をご案内します。

info@becalm.co.jp

03-4332-1222

平日10時〜19時
（年末年始・当社の休業日を除く）

運営: 株式会社Becalm（東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号 渋谷道玄坂東急ビル2F-C）
LINE、LINE のロゴは、LINEヤフー株式会社の登録商標または商標です。Lスタンプは株式会社Becalm が提供するサービスで、LINEヤフー株式会社が提供するものではありません。
本資料の内容は2026年10月時点のものです。画面は説明用の例で、実際の画面と異なる場合があります。